

平成 30 年 12 月 10 日 (月)

## 学究科講演会 「地域にある資源を考えよう」



期 日 平成 30 年 12 月 10 日 (月) 10:15 ~ 12:15

対 象 学究科 1、2 年生

テーマ 『地域にある資源を考えよう』

講演 1 「地域の資源を考える - 価値の尺度 -」

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻特任助教 新 雄太 先生

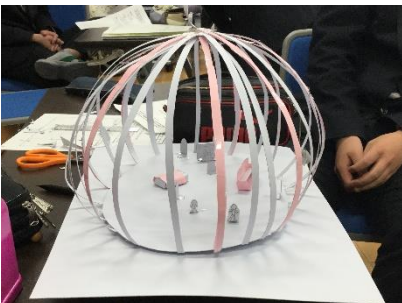
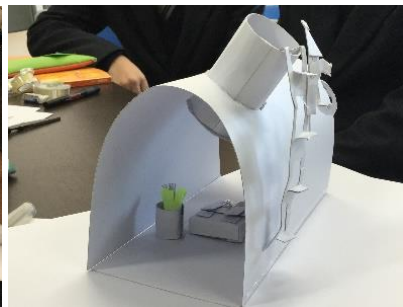
講演 2 「地域の資源を考える～建築からまちづくり、人材育成まで」

信州大学キャリア教育サポートセンター助教 勝亦達夫 先生

地域の課題を通じて、生徒の思考力・判断力・表現力の育成し、また、探究的な学びの推進を目的として、標記の講演会を開催しました。今回の講演会は、大町市、東京大学、信州大学が協働して行う「空き家の学校」に、本校の生徒が課題研究で深くかかわって活動をしていることが縁で実現しました。

講演会では、世界各地の建築物が、それぞれの地域の資源を有効に活用して作られていることや、建築からのまちづくりなどについてお話をお聞きました。後半はグループに分かれ、A3の厚紙を使った部屋作り「A3ルーム」に取り組み、それぞれユニークなオリジナルルームを完成させ、そのコンセプトを紹介しました。

本日のまとめとして、資源は有限だが知恵は無限であること、今自分たちの足元にある価値を見出し、地域の資源を活用してゆくことが大切であると締めくくりました。



### 《生徒感想》Classi のアンケート集計より抜粋

- 最後に新先生が「人は遠いものにも価値を見出すが、身近なものにも価値を見出だしてほしい。」とお話されていたのが印象に残った。研究課題を考えるうえで参考にしたい。
- 友達と協力し、1つの面から立体的なものを作ることができました。先輩方は工夫して無駄のない部屋や家を作っているところが多く、凄いなと思いました。
- 短い時間だったけど、意見を出し合い効率的に作業を進められた。協力できた。残った資源をどうするか、考えたいと思う・